

令和7（2025）年度 自己評価書及び学校関係者評価書

令和8年3月4日
札幌市立澄川中学校

学校教育目標	(1) 進んで学び、ねばり強く実践する生徒 (2) 豊かな心情をもち、積極的に協力し合う生徒 (3) たくましい身体をつくる生徒
--------	--

1 学校経営の方針

- (1) 学ぶ力の育成（進んで学び、ねばり強く実践する生徒）
- (2) 豊かな心の育成（豊かな心情をもち、積極的に協力し合う生徒）
- (3) 健やかな身体の育成（たくましい身体をつくる生徒）
- (4) 信頼される学校の創造

2 本年度の学校経営の重点

【目指す子ども像】	【重点目標】	【実現に向けての手立て】
(1) 主体的に課題解決に取り組む (2) 自他を尊重し、ともに高め合う (3) 健康・安全や人権等に配慮し健康の保持や体力の向上に努める	人間尊重の教育の推進 「子どもの声を聴く」	自治的な活動の充実、教職員も思いを表現、相互承認の感度を向上させる、学ぶ喜びを味わうことができる学習活動を推進、多様性を受容する学校空間の構築

3 自己評価に対する学校関係者評価

- 「A」・・・学校による自己評価（達成状況と改善の方策）が**十分妥当**である。
「B」・・・学校による自己評価（達成状況と改善の方策）が**概ね妥当**である。
「C」・・・学校による自己評価（達成状況と改善の方策）が**不十分であり、更に改善が必要**である。

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
1 学校 教育 目標	(1) 本校の「学校教育目標」に向けて、意識的に取り組んでいる	A	様々な教育活動において学校目標を念頭に置きながら活動することができた。今後も「実現に向けての手立て」にある内容を推進していく。	A	A
	(2) 教育課程や校務組織の編成を適切に行っている。	A	次年度は校舎改修の中でも最大限活動を保障し生徒や先生方にとって安心・安全な学校生活を創っていくために、全体的な調和のもと教育課程を編成していく。	A	A
	(3) 「開かれた学校」を目指し、学校公開日や学年・学級PTA等を工夫している。	A	学校公開日や学年PTAを複数回行うことができた。コミュニティスクールの取組も含め、教育の充実を図る上でもより一層「開かれた学校」づくりに努め、家庭や地域と連携した教育活動につなげていく。	A	A
	(4) 特別委員会は組織的・機能的に運営されている。	A	様々な状況に応じて、教育課程や旅行行事等の委員会を適宜開催した。今後も、必要に応じて時を逃さずに委員会を開催し、各部・学年と連携を深めていく。	A	A
学校関係者評価委員による意見	学校目標の実現に向かい推進されている。様々な場面で子どもたちがしっかり学んでいる姿を見ることができる。学校公開日の実施時間を工夫するとよいが、改善の方策も具体的で適切、妥当である。				

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
2 学習指導	(1) 学習意欲を高めたり、学習習慣を身に付けたりする取組が行われている。	B	ICT機器等も活用しながら、分かる・できる喜びを実感できる授業を行う。今後も丁寧に生徒と向き合いながら、「学びのススメ」を活用した学校、家庭が一体となった学習習慣づくりの推進に一層努めていく。	A	A
	(2) 確かな学力を身に付け、「学ぶ力」を育成する取組が行われている。	B	スモールステップを意識した取組や、課題探究的な学習の中で、見通しをもったり、自己決定をし、対話をし、振り返りを行ったりする場を創っていく。	A	A
	(3) 道徳、総合的な学習の時間で、目標に沿った内容を適切に行っている。	A	人間尊重の教育を基盤としながら、多様な考え方や人との触れ合いを通じ、自己の生き方を考えるための資質や豊かな社会性、人間性を今後も育てていく。	A	A
	(4) 特別活動（学級活動・生徒会活動・学校行事）で、目標に沿った内容を適切に行っている。	A	自治的な活動をより充実させる中で、人間関係を形成したり、様々な問題を主体的に解決したり、自己の集団や生活の課題をよりよく改善したりする資質の育成を図る。	A	A
学校関係者評価委員による意見	不足している部分を適切に自己評価し、向き合う姿勢もよい。学校と家庭の連携を密にしながら取り組んでいく必要がある。達成状況に対する改善策も適切であり、今後に期待したい。				
3 生徒指導	(1) 生徒理解を目的とした教育相談やいじめアンケートが適切に行われている。	A	廊下等の様子観察や各種アンケート、心と体の健康観察アプリ、教育相談等を活用し、生徒の不安が見られたら、時を逃さず生徒理解に努め、今後も、保護者や関係機関と連携しながら安心・安全な学校を創っていく。	A	A
	(2) 基本的な生活習慣や規範意識を育むための取組が行われている。	A	生徒会や委員会による挨拶運動や時間を守る取組、集会等をさらに充実させ上級生から下級生へよき伝統を継承する活動に努める。	A	A
	(3) 社会や学校のきまりを守り落ち着いた学校生活を送るための取組が行われている。	A	自分たちで改正したきまりを、自分たちで守るという意識をさらにもたせていく。また、旅行的行事など学校外の活動を通じ、公共のマナーについて考えさせる等、今後も働きかけを継続していく。	A	A
	(4) 自分や相手を思い・いたわる心を育てる取組が行われている。	A	学級活動や道徳の授業、周りで接する大人の姿勢など、互いを尊重しながら多様性を認め支え合う環境づくりに今後も努める。	A	A
学校関係者評価委員による意見	登下校時の挨拶がよくできている。落ち着いて生活している様子が見える。教職員や生徒会が協力して取り組み、評価・改善策も適切・妥当である。				
4 地域家庭	(1) 保護者や地域へ情報提供を適切に行っている。(学校HPや各種お便り、メール配信など)	A	学校だよりや学校HP、学校メール「すぐーる」を活用し、保護者や地域へ発信する機会を適宜設けることができた。今後も、地域コミュニティの拠点としての役割を果たせるように、開かれた学校・信頼される学校づくりを進める。	A	A
学校関係者評価委員による意見	学校だよりや学校HP、学校メール「すぐーる」等を利用し、地域や各家庭に適切に発信を行っている。安心して子どもを見守ることができる。				